

1 主 題 ナイス・シュート 2-(3) 信頼・友情、男女の協力

2 主題について

学校生活をしていくうえで、友達同士互いに相手を信頼し、助け合ったり励まし合ったりして、共に向上しようとする事は、極めて重要なことである。特に、高学年になると、相手の立場を理解しながら友情を深めることができるようになる。そこで、男女が協力して、仲よく生活することのすばらしさを感じ取らせ、よりよい人間関係を築いていこうとする気持ちを高めていきたい。

3 本時の授業(1/1時)

(1) ねらい

- 男女が協力して、仲よく生活することのすばらしさを感じ取り、より良い人間関係を築こうとする気持ちを高める。

(2) 本時の評価基準

- 男女が協力することのすばらしさを感じとり、より良い人間関係を築こうとする気持ちをもち、生活しようにすることができる。

(3) 準備・資料

- 教師：明るい心、場面絵、黒板貼付カード、ワークシート
- 児童：明るい心、筆記用具

(4) 過 程

学習課題 主な発問 言語活動に関する事項

段階 過程	学習活動	留意点 <input checked="" type="checkbox"/> 支援 <input type="checkbox"/> 評価
気 付 く 3分	1 男女一緒のグループで活動していて、困った経験について発表する。 ・ 清掃活動 ・ 野外活動	・ 困った経験やその時の気持ちを思い起こさせ、資料への興味づけをする。 ・ できるだけ多くの児童に発表させ、資料導入の糸口とする。
と ら え る 7分	2 資料「ナイス・シュート」の人間関係や場面展開の状況をとらえる。 (1) 資料の内容をとらえる。 (2) 場面絵を見ながら、話の流れをつかむ。	・ 主人公の気持ちを想像しながら、範読を聞くことをおさえる。 ・ 男子に一方的に責められ、つい感情的になってしまった主人公の気持ちに共感させる。 ・ 試合に集中していない自分を男子のせいにしてしている主人公の気持ちをとらえる。
深 め る 17分	3 主人公の気持ちを話し合う。 (1) 「いっしょに練習しよう」と呼びかけたのはどうしてですか。 ・ 今のままでは楽しくない。 ・ けんかをしていては試合には勝てないから、協	・ よしこさんのチームの練習の様子から、自分のチームに欠けていた点に気付いた主人公の気持ちの変化を感じ取らせる。

<p>深める 17分</p>	<p>かしよう。 (2) 「<u>ナイス・シュート</u>」と言われ、さわやかな気分になったときのわたしの気持ちを話し合う。</p> <p>「ナイス・シュート」と言われ、さわやかな気分になったとき、わたしはどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力してシュートを決めることができ嬉しい。 バスケットボールって楽しいな。みんなで協力するとこんなに面白いなんて知らなかった。 よしこさんのチームみたいに、男女で協力できて嬉しい。「一緒に練習しよう」と呼びかけて良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに書き込ませる。 隣どうしで発表し合い、その後全体発表をする。 <p>男女が互いに協力して、1つのことをやり遂げた後の、満足感に共感させる。</p> <p>資料から、男女で協力することの大切さに気付くことができたか。</p>
<p>見つける 15分</p>	<p>4 <u>今までの生活の中で、男女で協力して良かったという経験について話し合う。</u></p> <p>今までに、男女で協力してうまくいったことには、どんなことがありますか。(できたらそのときの気持ちも付け加えてください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理実習のとき、男女で役割分担を決め協力することができた。いつものカレーよりおいしく感じた。 体育のソフトバレーボールで、声をかけ合いながら楽しくゲームができた。失敗したとき、男の子が優しく声をかけてくれて安心できた。 野外活動のハイキングでは、グループの仲間と仲良く協力できた。みんなで相談してクイズに正解できて嬉しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験をもとに、その時の気持ちについても発表させる。 友達の発表を聞くことにより、価値を自覚し、さらに自分をみつめさせる。 <p>自分自身の経験を振り返り、友達や男女で協力し、よりよい人間関係を築いていこうという気持ちを高めている。</p>
<p>あたたためる 3分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女で協力してよかった教師の体験を紹介し、子どもたちの心に余韻を残す。

4 反省

5 高評